行政の窓

令和3年　特用林産統計について

【特用林産物生産額】

令和3年における道内の特用林産物の総生産量は約18,347トン（前年比98%），総生産額は，約102億円（前年比97%）と共に，4年連続前年を下回りました。

【きのこ類の生産動向】

令和3年のきのこ類の生産量は17,091トン（前年比99%），生産額は約99億円（前年比97%）と，いずれも前年を下回りました。ただし，道内で最も生産量の多い「生しいたけ」（原木及び菌床）は，生産量5,632トン（前年比 104%）で昨年を上回りました。

次いで生産量の多いえのきたけ，3位のぶなしめじは，秘匿措置としておりますが，ともに前年のほぼ横ばいの生産量でした。

道内品種別生産量は，これら3品目で全道きのこ生産量の約70%を占めています。

【木炭の生産動向】

令和3年の生産量は639トン（前年比78%），生産額は約1.3億円（前年比78%）と，いずれも前年を下回りました。

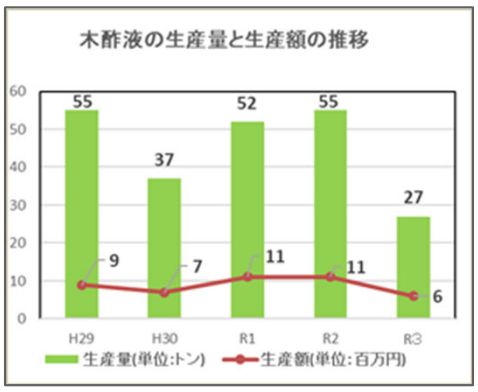
なお，令和3年は輸入木炭も，2,987トン（前年比84%）と，前年を下回る輸入量となりました。

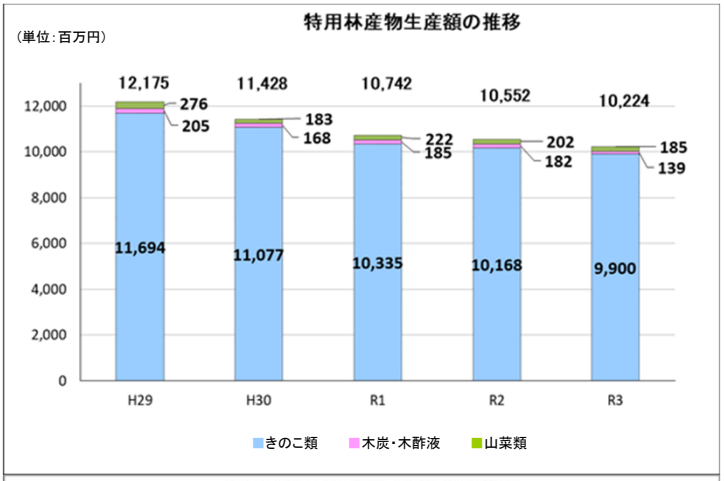
【主な山菜類の生産動向】

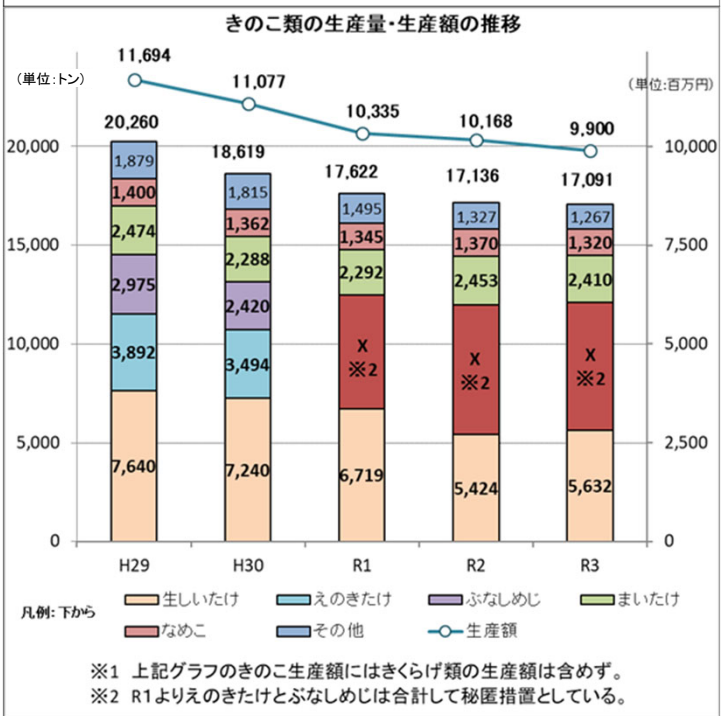
令和3年は生産量が590トン（前年比90%），生産額は約1.9億円（前年比92%）と，いずれも前年を下回りました。

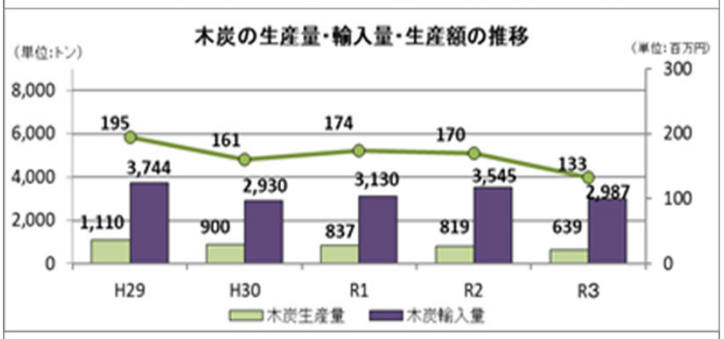
※上記生産額は，全て推計額となります。

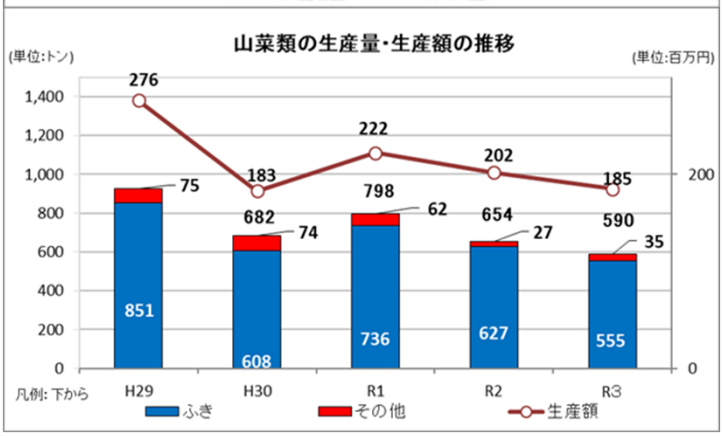
※平成30年以降の統計調査の公表にあたっては，調査対象者数が2以下の場合，個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から，当該結果を「X」表示とする秘匿措置を施しています。また，全体（計）から差し引きにより，秘匿措置を施した当該結果が推定できる場合についても「X」表示しています。











（水産林務部林務局林業木材課木材産業係）